

平成31年 1月28日

作成者 加賀見 優



会議名	平成30年度SSUK14期 校友会第9回理事会	会場	浦和コミセン 第11集会室
		日時	平成31年 1月25日10:00～12:00
出席者	高木、依田、加藤、高羽、石井、樋口、藤原、中尾、小野田、清水(和) 柏野、片柳、飯塚、小高、中崎、黒澤、岩野、西村、横田、山村、大室、萩原 宮垣、加賀見(敬称省略)		
会議内容	<p>I. 総務委員会からの報告</p> <p>1. 校友会連合会関連</p> <p>(1). 「会員減員対策プロジェクトチーム」の動向について</p> <p>プロジェクトチームが発足し、既に3回の会合が開催され、「会員減員対策案」を検討してきましたが、初年度は「取り組むべき課題」を明確にして優先度を加味し「出来るものから」推進していくと云うことで4つの課題に絞りました。</p> <p>優先度順の4つの課題は以下の通りです。</p> <p>優先度－1 期まるごと脱会の要因分析と予防策</p> <p>優先度－2 学友会から校友会(連合会・協議会)新規加入促進策</p> <p>優先度－3 女性会員の意見反映と参画への促進策</p> <p>優先度－4 行政への提言(大学、大学院への応募人員拡大策等)</p> <p>このうち優先度が一番高い「期まるごと脱会の要因分析と予防策」についてその要因手法で洗い出し、その結果約90件が挙がり、それらを整理すると共に対策すべき重要性を加味して、次の4点に絞りました。</p> <p>重要度1 特に代表役員の負担が大きい</p> <p>重要度2 未加盟でも問題なく運営が出来る</p> <p>重要度3 人的交流が少ない</p> <p>重要度4 事業企画の魅力が少ない</p> <p>更に上記4つに対する解消策を創出、討議して結論を出し、これを「期まるごと脱会の予防策」(案)として報告がなされました。(解消策については別紙添付)</p> <p>本年度は優先度－1の「期まるごと脱会の要因分析と予防策」を検討し、一定の解消策を提言するまでに至ったので次年度以降、残りの課題を優先度順に検討することになる。</p>		

次ページに続く

平成31年 1月28日

作成者 加賀見 優



会議名	平成30年度SSUK14期 校友会第9回理事会	会場	浦和コミセン 第11集会室
		日時	平成31年 1月25日10:00～12:00
出席者	高木、依田、加藤、高羽、石井、樋口、藤原、中尾、小野田、清水(和) 柏野、片柳、飯塚、小高、中崎、黒澤、岩野、西村、横田、山村、大室、萩原 宮垣、加賀見(敬称省略)		
会議内容	<p>(2). 連合会文化祭</p> <p>・北協は作品展の展示を担当しており、北協文化祭実行委員会を立ち上げ準備を進めています。</p> <p>＜文化祭実行委員会のメンバー＞</p> <p>委員長 瀧澤氏(13期)</p> <p>委員 本間氏(8期) 笹川氏(9期) 池田氏(10期) 成瀬氏(11期) 加賀見(14期) 庄子氏(16期)</p> <p>13期瀧澤会長の方で各校から提出される作品を展示する場所を種目別に作品の形状(縦・横・奥行)を考慮しながら配置決めを行っています。各校から提出される300点弱の作品を展示する場所を事前に決めるのは大変なことなので苦勞されているようです。</p> <p>2/4に再度現地(埼玉会館)に出向き、展示場の最終確認を行うことになっている。</p> <p>(3). 連合会HP委員会が開催され、連合会HPの運用規則の見直しがなされた。</p> <p>従来より簡素化したとの事で4/1から運用開始となる。</p> <p>2. 北浦和校協議会報告</p> <p>(1). 北協麻雀大会開催について</p> <p>年間行事とは別に各期との交流を図るイベントとして「第1回北協麻雀大会」を開催することが決まりました。概要は以下の通りです。</p> <p>①開催日時 : 平成31年3月18日(日) 10時～16時</p> <p>②開催場所 : 麻雀「憩い」 浦和駅西口「イトーヨーカ堂」横</p> <p>③雀卓数 : 6卓</p> <p>④参加人数 : 3名/各期 合計24名</p> <p>⑤参加費 : 1,000円/人</p>		

次ページへ続く

平成31年 1月28日

作成者 加賀見 優



会議名	平成30年度SSUK14期 校友会第9回理事会	会場	浦和コミセン 第11集会室
		日時	平成31年 1月25日10:00～12:00
出席者	高木、依田、加藤、高羽、石井、樋口、藤原、中尾、小野田、清水(和) 柏野、片柳、飯塚、小高、中崎、黒澤、岩野、西村、横田、山村、大室、萩原 宮垣、加賀見(敬称省略)		
会議内容	<p>(2). さいたまマーチ参加人数確認 北協全体としての参加人数は50名となる。 <内訳> 8期-8名、9期-8名、14期-23名、16期-11名</p> <p>(3). 東浦和校主催「オペラとヴァイオリン演奏会」参加人数確認 北協全体として参加人数は123名となる。 <内訳> 8期-11名、9期-12名、10期-11名、11期-16名 13期-0名、14期-26名、16期-23名、17期-25名</p> <p>(4). 北11期主催「第3回春に音楽会」の案内 ①開催日時 : 平成31年3月14日(木) 開場 9:30 開演 10:00 ②開催場所 : 市民会館うらわ コンサート室(8F) ③入場料 : 無料</p> <p>当該会場の収容人数が132名となっており、主催(11期)側の参加分を差し引くと他期の参加人数は70～80名となる。</p> <p>3. 北14期関連</p> <p>(1). 来年度の各班の体制について 連合会の要請により各協議会の来期の会員数を提出しなければならないので14期各班の状況を確認する。 1班-9名、2班-12名、4班-9名、5班-8名、7班-6名、8班-6名 9班-11名、10班-9名、11班-8名、12班-4名、特別会員-3名 計85名 未だ確定はしていませんが、多少減はあるものの大半の会員が残留予定です。</p> <p>(2). 理事、企画委員及び広報委員の交通費補助について 色々と意見がありましたが、前年同様の金額となりました。</p>		
次ページへ続く			

平成31年 1月28日

作成者 加賀見 優



会議名	平成30年度SSUK14期 校友会第9回理事会	会場	浦和コミセン 第11集会室
		日時	平成31年 1月25日10:00～12:00
出席者	高木、依田、加藤、高羽、石井、樋口、藤原、中尾、小野田、清水(和) 柏野、片柳、飯塚、小高、中崎、黒澤、岩野、西村、横田、山村、大室、萩原 宮垣、加賀見(敬称省略)		
会議内容	<p>II. 企画委員会からの報告</p> <p>1. 総会&懇親会関連</p> <p>各班の出欠状況について次回理事会までに報告することとする。(厳守)</p> <p>尚、懇親会へ参加する方は「①飲み放題無し」、「②飲み放題付き」のどちらかを選択し報告する。</p> <p>III. 質疑応答</p> <p>1. 理事会出席メンバーの人数について</p> <p>現在は各班2名ずつ出席しているが、人数の少ない班もあり1名でも構わないのではと云う意見が出された。この議題については過去にも取り上げられた経緯があります。理事からの意見を以下に纏めてみました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在も2名が参加しており、出席率も良いのでこのまま2名で良い。 ・一人でも多く、理事会の場を経験して欲しい。 ・出席者が一人だけだと負担が掛かる。 ・人数が少ない班は一人だけでも構わないが、その人が出れない場合は代替が出せるようにして欲しい。 <p>いろいろと意見が出ましたが、結論としては従来通り2名体制とし、班事情で2名出せないところは最低1名を出すと云うことになりました。</p> <p><次回理事会開催予定></p> <p>1. 開催日時 : 平成31年2月22日(金) 10時</p> <p>2. 開催場所 : 武蔵浦和コミュニティーセンター 第6集会室</p> <p style="text-align: right;">以上</p>		

「期まるごと脱会の予防策」(案)

当プロジェクトチームとして、次の結論を得たので、以下に報告します。

(1) 「特に代表役員の負担が大きい」ことへの解消策

- ①主業務のマニュアルを作成する。(総務、広報、芸能発表会、作品展示会)
- ②マニュアル作りを委託する。(3万円/1人×3名、総額10万円を予算化)
- ③広報部を、総務部に統合して、各校代表役員を3名体制とする。(会長、副会長2名[総務・企画])
- ④常任理事手当(交通費・通信費・事務費等への補助)として、一律年間3,000円/1人を支給する。

(2) 「未加盟でも問題なく運営ができていいる」ことへの解消策

- ①校友会主催行事の案内書に「参加要件：校友会会員のみ」を記述して、区別を徹底する。
- ②パソコン教室への校友会会員講師の派遣は、校友会会員(生徒)のみの講座とする。
- ③各協議会は、非加盟期役員と定期的(1回/年)に交流を重ね、繋がりを継続していく。
- ④さいたま市行政窓口に、校友会への配慮を要請する。
 - ・公共施設の優先予約可能となる規定化。
 - ・大学卒業後も「活動の拡大と継続」を前面に、校友会加盟を誘導してもらう。
- ⑤各期クラブ「代表者や部員」は、校友会会員に限定するように努める。
- ⑥非加盟期会員であっても、同一校の「希望する期」に個人単位で加入することを認める。

(3) 「人的な交流が少ない」ことへの解消策

- ①協議会行事を増やし、協議会内での「会員交流の機会」を増やす。
グラウンドゴルフ大会、ボウリング大会、健康麻雀大会等々。
- ②協議会内で、同一クラブとの交流を活発化させる。非加盟期との交流は除く。
- ③各校各期の会長・副会長に、女性会員を登用するように努める。
- ④連合会常任理事の交流、親睦が深まる創意工夫を図る。
 - ・常任理事会会議時は、総務部・企画部・(広報部)毎に集合して着席する。
但し、会長・副会長・事務局は所定の場所とする。
 - ・総会時の席は、各校別ではなく、総務部・企画部・(広報部)毎に集合して着席する。
 - ・常任理事に、所定の名札を配布して、常任理事会や総会時に、携行・掲示する。

(4) 「事業企画の魅力が少ない」ことへの解消策

- ①連合会HPに、所定様式による「行事内容や出演者情報等」を登録できるしくみをつくる。
- ②連合会主催の講演会・コンサート等を実施する。
但し、客数1,200名前後になることから、各校が集客責任(チケットの按分補償)を負うことを前提とする。
なお、これを実施する場合、連合会としての「さいたまマーチ」への参加はしない。
- ③他校に「参加募集する行事」を企画・開催するように、各校は努める。

以上